



今号の特集

胃腸のおはなし

2022年
1月

待たずにラクへだ

会計待ち時間「待たずにラクへだ」サービスについて

令和2年6月25日から開始

かんたん手続き ・ 外来当日から使える ・ ご利用料無料

診察後、お会計を待たずにお帰りになれるサービスです。

(ご入院の場合は原則 ご入院前のご登録が必要となります)

- サービスのご利用には、『診察券番号』・『クレジットカード情報』等を事前登録いただきます。(登録料・利用料ともに無料です)
- 当日のお会計につきましては、ご登録されたクレジットカードから後日決済されます。
- 領収書については決済後、院内の専用発行機にて発行可能となります。

一部ご利用いただけないクレジットカードがございます。

発行 〒220-8521 横浜市西区みなとみらい3-7-3
一般財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院
TEL.045-221-8181 (代表) URL <http://www.keiyu-hospital.com/>



胃腸の不調とその要因

胃腸は日頃の生活習慣を反映して、そのまま症状が現われやすい臓器です。暴飲暴食、刺激の強い飲食物の摂取、栄養バランスの悪い食事、喫煙、過度の飲酒などは、胃粘膜にダメージを与えたり、胃腸の消化吸収機能を低下させたりして、胃腸のトラブルの原因となります。

また、胃潰瘍ではピロリ菌の繁殖がその主な原因となることが広く知られています。

便の異常では、消化管の出血が原因でイカ墨みのように黒い便（タール便）が出たり、濃いレンガのような便（暗赤色便）が出たりします。

このように胃腸の不調の要因は様々で、症状にもよりますが、相応の検査や治療が必要となる場合があります。

胃腸疾患の診断と治療

胃腸疾患の診断は、主に次の検査を実施します。バリウムを用いた胃透視検査や便潜血検査（検便）、あるいは胃カメラや大腸カメラの検査を行います。

胃カメラや大腸カメラのいわゆる内視鏡検査では、検査をしながら目視で病巣を把握でき、必要時には検査中に病巣の組織を採取して診断をつけることができます。

万が一、病巣にガンが認められた場合、早期であれば内視鏡下で切除する（ESD）ことも可能です。内視鏡のため、おなかにキズをつけずに治療できることが大きなメリットです。

胃腸の不調は放っておくと思わぬ大病に繋がる場合がありますので、ご不安に感じたら、まずは専門医のご受診をおすすめいたします。

消化器内科 副部長

伊藤 高章